

# 学校だより

平成29年9月号

<教育目標> 意欲を育て 夢を育む学校

大阪狭山市立第七小学校

## 「いのちのうつわ」

校長 沼田 貞治

夏休みはいかがお過ごしでしたか。例年のことながら35度を超す猛暑日が当たり前のようになってきています。でも、それが実は異常なことであるということをわたしたちは忘れてはいけないような気がします。

先月18日に日野原重明先生が亡くなりました。105歳でした。100歳を超えてからも仕事をたくさん受け、週に1度は徹夜するなど多忙な日々を、あえて送られていたそうです。日野原先生の書かれたメッセージが、6年の国語の教科書にも「君たちに伝えたいこと」として掲載されています。その中で“寿命とは何か”ということ問われています。



日野原重明先生

「寿命とは空っぽのうつわで、そこに各人が、自分の時間をつめこんでいくというイメージです。“時間がいちばん生きてくる”のはほかの人のために時間を使った時です。あなたが生まれたとき、周りの人たちはどれだけ幸せを感じたでしょうか。それはあなたのために精いっぱいつくしたから。だからこそ、あなた、そして私たちはだれかのために精いっぱい時間を使うことが自分自身の喜びになるのです。」

とおっしゃられています。

先人のすばらしい生き方は私たちのこれからの生き方を照らしてくれるまさに灯台であると思います。「だれかのために」という心をいろいろな機会でももたちに伝えていきたいと思います。

さあ2学期です。体育館の改修工事も終わり、まっさらの体育館で始業式をしました。気持ちもリフレッシュしてスタートです。「夏休み、何ががんばった？」と聞かれて即答できる子、OKです。う～んと考える子、仕方がない2学期がんばろう！そんなことを話しました。

まだしばらくは暑さ続きます。5年生はさっそく林間学校の用意をしなくてはならないし、そろそろ運動会（10月8日（日））の練習も始まりますので、お茶など暑さ対策をよろしくおねがいします。